



さいがただより

National Hospital Organization Saigata Medical Center

2018.10.1 Vol.20



火打山と高谷池 2018.9.24

発行：独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター 院長 下村 登規夫 <http://www.saigata-nh.go.jp/>
〒949-3193 新潟県上越市大潟区犀潟 468-1 TEL:025-534-3131 FAX:025-534-4824

〈基本理念〉「良い医療を安全に、心をこめて」

上越地域で精神科医療をてがけて

院長特任補佐 村上 優



9 月末に妙高と火打山に登りました。4 月に来た時には雪の壁のように見えていた山々でしたが、妙高頂上や火打の高谷池あたりはすっかり紅葉して秋の深まりを感じました。新潟を身近に感じる時となりました。

我が国の精神科医療はすでに方向づけられており、在宅中心のケアに向けられています。在宅医療では対応できない精神科救急、それに精神科専門医療(依存症、発達障害、児童思春期、認知症、てんかん、摂食障害、高次脳機能障害など)は入院を含めて専門性を担保したうえで構築するというものです。ただ慢性期でも

治療抵抗性(研究班では「重度かつ慢性」)の精神疾患には継続しての入院という余地を残しています。

この方向付けは早くから準備され、少しずつ地域や病院機能が整備されてきていますが、それでも未だ入院中心の医療が大きく変化する兆候を肌で感じるほどにはなっていません。その変化に期待をかけて長く精神科医療に携わってきましたが、諦念ともどかしさを感じています。さいがた医療センターとて医師の不足を始め、この動きに十分対応できているわけではありません。現在は精神科医療の再構築に向けて足元を見るべきと自戒しています。

本年 4 月に赴任して、再建計画を多職種で協議して 7 月よりスタートしました。まずは精神科多職種チーム医療の再建、新患の外来や入院の受け入れ態勢の再建、mECT やクロザピンなど治療抵抗性精神疾患の医療、精神科専門療法(アルコール・薬物依存や行動嗜癖、発達障害を含む思春期精神医学、MRI や SPECT、ダットスキャンを利用した認知症)を手がけ医療体制の整備をしています。上越地域や周辺地域の困難症例について他病院や地域援助者を交えて検討すると、この地域関係者の病にある人々に対する感度のよさを感じます。私共がどれほど地域のお役にたつか、その結果を地域の皆様も見ておられるでしょう。ご意見を賜れば幸いです。

Content

1 P…○上越地域で精神科医療をてがけて

2 P…○アルコール・薬物依存・発達障害・高次機能障害の診療をはじめました

○クロザピンの治療状況 ○神経難病医療

○放射線画像診断の受入(共同利用)

3 P…○認知症医療 ○デイケア・訪問看護の案内

○重症心身障がい医療(ショートステイ)

4 P…○外来診療担当表

アルコール・薬物依存・発達障害・高次機能障害の診療をはじめました

精神科診療部長 佐久間 寛之

近ごろはコンビニにカラフルなパッケージのお酒が増えました。生活が豊かになり、お酒を楽しむ機会が増えたのと同時に、飲酒に関するリスクも高まっています。飲んだあとの記憶がはっきりしない、お酒の失敗がたびたびある、まわりからお酒の問題を指摘されているのに減らせない。こんな問題を抱えていませんか？当院では平成 30 年 9 月より依存症治療プログラムを開始しました。お酒の問題だけでなく、違法薬物や処方薬依存、ギャンブル依存など、依存症全般を対象に診療を行っています。ご本人、ご家族からのご相談はもとより、行政機関からのケース相談にも対応しております。

また発達障害・高次機能障害の診療も行っております。発達障害という言葉は広く世に知られるようになりました。いままではうつ病、適当障害と言われてきた方の症状も、実は発達障害が背景にある方もいます。当院では精神科医・臨床心理士による検査とアセスメント、多職種チームによる介入を行っております。また高次機能障害については、脳神経内科と精神科が連携態勢を取っています。お困りの方、どうぞお気軽に受診相談のお電話をください。

クロザピンの治療状況

薬剤科

平成 30 年 8 月から治療抵抗性統合失調症の患者様に対してクロザピン治療を開始し、2 か月経った平成 30 年 10 月に全症例は 8 例になりました。クロザピン治療前は抗精神病薬を複数服用していた患者様もクロザピンのみの単剤となり服用する際の負担が少なくなりました。また治療経過も良好です。

神経難病医療

脳神経内科

当院の脳神経内科は、2つの病棟・40床ずつ、計80床あります。主にパーキンソン病・脊髄小脳変性症・多系統委縮症・筋萎縮性側索硬化症の薬物調整・リハビリテーション目的の入院を受け入れています。現在、脳神経内科医師は 1 名ですが、整形外科医師、精神科医師に加え、今年から新しく脳神経内科医を目指す内科医師を迎えました。神経難病に併発する骨格筋の痛みや精神的悩み、内科全般の診療と、医師間の協働により病院全体に活気が増えています。

看護師は、スピンラザ髄注等新しい治療について学び、より良い看護の提供に向けて日々研鑽しています。地域包括ケアシステムの実現に向けて、退院支援に力を入れており、多職種間で協働するためにカンファレンスの充実を図り、患者さんにより良い援助・支援の提供を心がけています。

昨年度から近隣の看護専門学校で看護学実習を受け入れ、1～3年生の実習を受け入れています。未来ある若者のへの指導に責任を感じつつ、若い力に刺激を受けています。

これらを実践しつつ、地域における神経難病中核病院としての機能充実に努めています。

放射線画像診断の受入（共同利用）

診療放射線科

当院は、CT(80列)、MRI(1.5T)、そして上越地域では数が少ないSPECT装置を有しております。また、放射線画像診断医が常勤でおりますので、検査結果がすぐにわかり、たいへん整った画像診断の環境にあります。

この画像診断体制は、日々の診療に活用されていますが、国立病院機構の役割の 1 つに“地域での医療の提供”があることから、地域の医療施設からの検査依頼もお受けしています。

しかし、昨年度の実績はMRI-115件、CT-41件、SPECT-2件と少なく、ご利用施設も限られているのが現状です。

当院は当日オーダーが多いため、ほぼご希望の日時に予約できます。お急ぎの場合には当日検査にも対応しています。ぜひご利用下さい。

認知症医療

心理療教室

近年は高齢者の 4 人に 1 人が、認知症とその予備群と言われる時代になり、特に日本は高齢化が進み先進国の中で認知症の人の割合が高くなっています。もはや認知症は珍しい病気ではなく、地域にも身内にもいますし、『いずれは自分も…』と他人事とは言えないくらい身近な病気になってきていると言えます。

ご自身や身近な方で、最近自動車の運転に自信が持てなくなったとか、物忘れが増えて気になるという方がおられましたら、一度医療機関を受診されてみてはいかがでしょうか。

当院には CT スキャン、MRI が設置されており、診療放射線技師や読影をする放射線科医師（画像を見る専門医）が常駐しておりますし、脳波計を用いたより精密な検査や臨床心理士による神経心理学検査も実施可能です。そして、精神科と脳神経内科及び内科の各担当医師が連携して、幅広い視点から原因となる病気の特定に努めております。家族で物忘れが気になる方や自動車の運転が最近危ないと感じられるような方など、お気軽にお越しください。

デイケア・訪問看護の案内

リハビリテーション科・看護部

○デイケア

当院では、患者さんの社会生活機能の回復を目的として難病患者様・精神障がいを持つ人のデイケアを実施しています。

難病デイケアは、毎週月・水・木の 9 時から 15 時に実施しています。内容は、集団体操・レクリエーション・作業活動（手芸・カラオケ・畑等）などを、楽しみながら行っています。また身体機能の維持・向上だけでなく、患者さんの仲間づくりも支援しています。

精神デイケアは、月曜日から金曜日の 9 時から 15 時の間、精神障害の回復途上にある人がレクリエーション活動、作業活動に参加して、楽しみながら生活リズムを整え社会復帰に役立つコミュニケーションの練習をすることで社会の中で自立した生活ができることを目指しています。

見学や相談、参加希望の方は主治医または医療相談員までお気軽にご相談ください。スタッフ一同お待ちしております。

○訪問看護

当院の訪問看護は、精神疾患をお持ちの方を対象に行っております。地域で安心して生活していただくために、入院時から関わらせていただき、医師、ケースワーカー、作業療法士と連携しながら、病状や服薬に関する支援、家族への支援など、利用者の方に必要な支援を行っております。訪問には、看護師の他、ケースワーカーが同行する場合がありますので、書類のことや社会資源などのご相談を一緒に考えながら支援させていただいております。

脳神経内科に通院、又は入院されている方への訪問看護については、開始に向け準備をしているところです。

重症心身障がい医療（ショートステイ）

療育指導室

当院重症心身障がい病棟（東 1・東 2 病棟）では、「医療型短期入所」（通称：ショートステイ）の受け入れを行っています。

当院の医療型短期入所は、在宅で生活されている重症心身障がい児者を対象に、申込み頂いた一定期間を病棟でお過ごし頂き、食事や排泄等の他、ご利用の曜日等によっては入浴や日中活動も提供しています。日中のみの日帰り利用や、他の通所事業所の利用後に宿泊を伴う利用等も可能となっています。

利用される方や地域のニーズ等も取り入れ、利用しやすいサービスが提供できるよう取り組んでまいります。よろしくご依頼致します。

外来診療担当表

平成30年10月1日

診療科名	曜日 (区分)	月	火	水	木	金
精神科	初診・再診	佐久間 寛之	交代制	交代制	武内 廣盛	曾根 四郎
		村上 優	村上 優	佐久間 寛之	交代制	
		西澤 芳子	西澤 芳子	西澤 芳子	西澤 芳子	西澤 芳子
脳神経内科	初診・再診	下村 登規夫	石黒 敬信 下村 登規夫	下村 登規夫	古澤 英明	下村 登規夫
内科	初診・再診	野村 憲一 (血液内科)		野村 憲一 (血液内科) (午後)		野村 憲一 (血液内科) (午前)
	初診・再診					榛澤 和彦 (循環器科)
放射線科 (画像診断)	初診・再診	越原 浩	越原 浩	越原 浩	越原 浩	越原 浩
小児科	初診・再診			川崎 砂里 (第1週除く)		
整形外科	初診・再診	山本 正洋 (午後)		労災病院医師		山本 正洋 (午後)

専門 外来 (予約制)	脳ドック			○	○	
	頭痛外来	○	○	○		
	睡眠時無呼吸外来 ※診察時間14時～16時	○	○	○		
	慢性疲労外来 ※診察時間14時～16時	○	○	○		
	依存症外来 (アディクション)	○	○	○		

- 受付時間 8時30分～11時00分 (予約者を除く)
 - 休診日 土・日曜日、祝祭日、年末年始
 - 各科診察は予約制です。詳しくは外来窓口へお問い合わせください。
 - 予約時間・予約時間の変更は平日の12時00分～15時00分の間に電話で受けつけています。
- ★予約の問い合わせ先：TEL 025-534-3131 (病院代表)



- ・JR信越線犀潟駅・ほくほく線犀潟駅下車、徒歩7分
 - ・JR直江津駅より頸城バス(浜線)柿崎行、鶴の浜行でさいがた医療センター入口下車、徒歩10分
 - ・JR直江津駅よりタクシー15分
 - ・北陸自動車道大湊PAより車12分
 - ・北陸自動車道大湊PASスマートICより車7分
- ※ETC搭載で、AM6:00～PM10:00の間



独立行政法人国立病院機構
さいがた医療センター
〒949-3193
新潟県上越市大湊区犀潟468-1
TEL:025-534-3131 FAX:025-534-4824
<http://www.saigata-nh.go.jp/>